

第 54 回 パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書 2013 年 10 月



■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、(株)エンタテインメントビジネス総合研究所が 2000 年 6 月より四半期毎に実施しているアンケート調査。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI 値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI 値は+100から-100の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、パチンコ・チェーンストア協会、日本遊技産業経営者同友会、余暇環境整備推進協議会の 4 団体会員ならびに Aclub(エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス)会員など、全国の有効パチンコ店経営企業

◇実施時期：

2013 年 9 月 19 日～10 月 3 日

◇調査方法：

調査票をFAXにて送付・回収

◇回答状況：

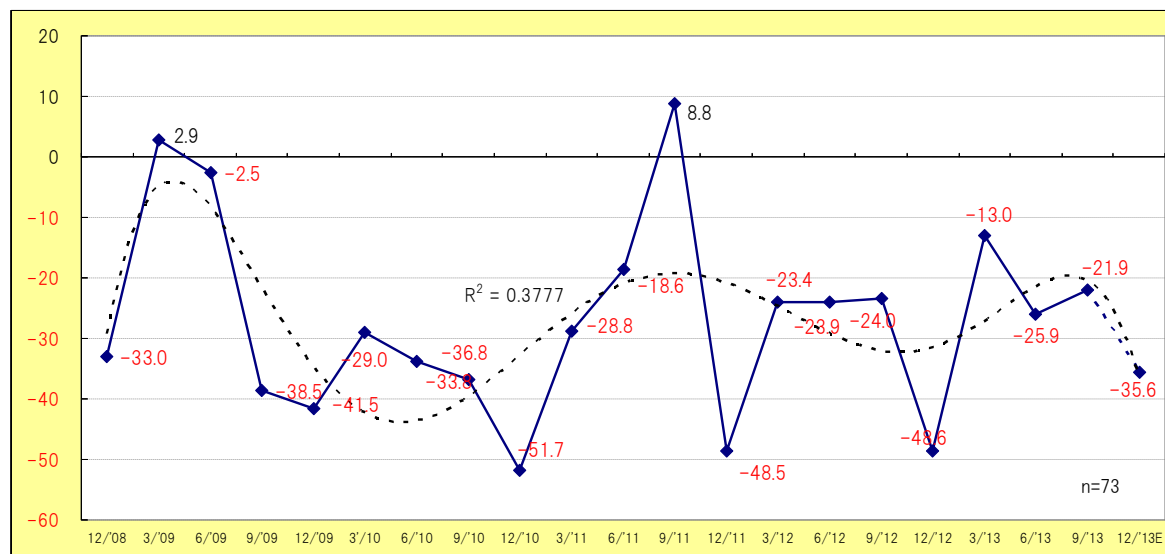
58 企業、73 地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)



調査結果ダイジェスト(1)「全般的業況」

■全般的業況: やや改善するも、見通しは転じて悪化の見込み

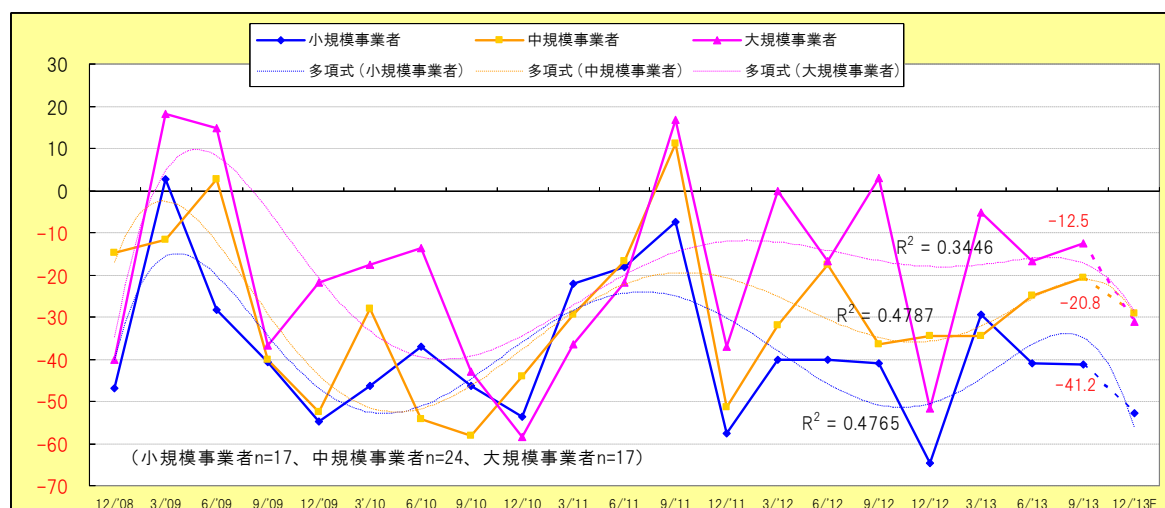
【事業者全体】



過去1ヶ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲21.9ポイント(前回比4.0良化)となった。前回(13年6月調査)からは若干の回復となったものの、8期連続のマイナス推移という結果になった。

また、3ヶ月後の見通しでは▲35.6ポイントまで悪化すると考えられており、全般的な業況が回復する兆しは見えてこない。

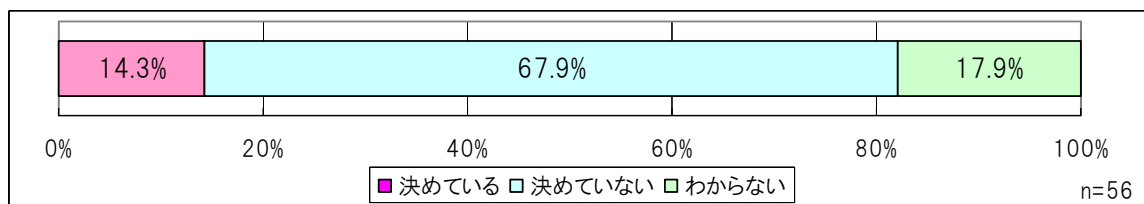
【事業者規模別】



「全般的業況」を事業者規模別で見ると、小規模事業者(1~3店舗)が▲41.2ポイント(前回比0.3悪化)、中規模事業者(4~10店舗)が▲20.8ポイント(前回比4.2良化)、大規模事業者(11店舗以上)は▲12.5ポイント(前回比4.2良化)となった。大規模事業者と中規模事業者はやや回復したが、3ヶ月後の見通しについては、事業規模にかかわらず、数値の悪化が見込まれている。

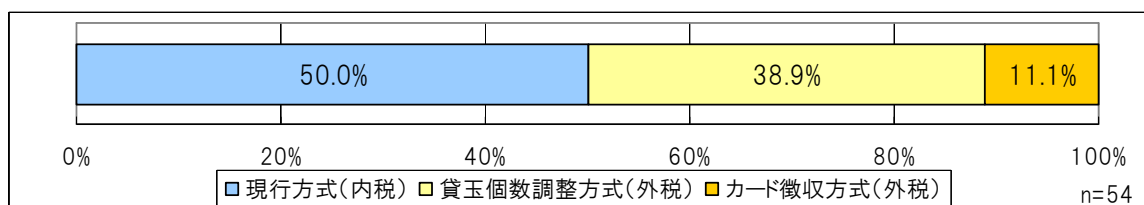
調査結果ダイジェスト(2)「消費税増税について」

■ 徴収方式は「決めていない」が約 7 割



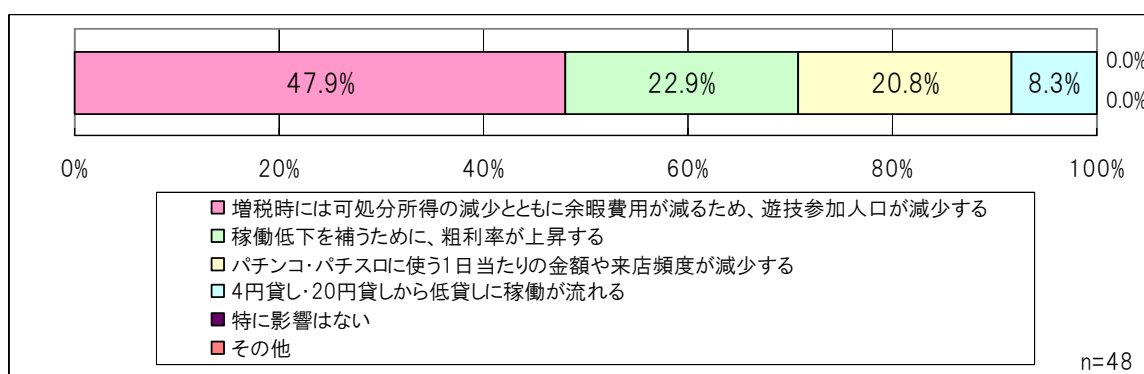
2014年4月に消費税が5%から8%に引き上げられることになった。それに伴い、パチンコ店においては、「現行方式(内税)」「貸玉個数徴収方式(外税)」「カード徴収方式(外税)」という3種類の徴収方式が考えられる。「税率が8%に引き上げられた際の徴収方式をすでに決めているか」との質問に対しては、「決めている」が14.3%、「決めていない」が67.9%、「わからない」が17.9%という結果になった。

■ 8%時に望ましいと思う徴収方式は「現行方式(内税)」



「税率が8%に引き上げられた際に、望ましいと思う徴収方式はどれか」という質問への回答は、「現行方式(内税)」50.0%、「貸玉個数徴収方式(外税)」38.9%、「カード徴収方式(外税)」11.1%という結果になり、増税時には現行の内税方式が望ましいとの考えが半数を占めている。また、同じ外税方式でも、「貸玉個数調整方式」(38.9%)が「カード徴収方式」(11.1%)を上回る結果となった。

■ 増税時に最も危惧することは「参加人口の減少」



消費税が増税された際の負の影響として「最も危惧することは何か」という質問に対しては、「増税時には可処分所得の減少とともに余暇費用が減るため、遊技参加人口が減少する」との回答が47.9%と最も多かった。続いて、「稼働低下を補うために、粗利率が上昇する」が22.9%、「パチンコ・パチスロに使う1日当たりの金額や来店頻度が減少する」が20.8%、「4円貸し・20円貸しから低貸しに稼働が流れる」が8.3%となった。

主要指標数値(DI 値)結果

■消費増税をにらみ、設備(遊技機以外)投資気運が高まる






















「全般的業況」は▲21.9ポイントとなり、前回からは4.0の回復となったものの、3ヶ月後の見通しでは▲35.6ポイントまで大きく悪化すると見込まれている。

「稼働状況」は、パチンコ▲31.5ポイント(前回比5.6悪化)、パチスロ▲21.9ポイント(前回比0.3良化)となった。また、3ヶ月後の見通しについては、パチンコ▲45.2ポイント、パチスロ▲34.2ポイントとなり、どちらも大きく悪化すると見込まれている。






「資本投資気運(遊技機)」は▲10.3ポイント(前回比0.6悪化)となり、3ヶ月後は▲13.8ポイントまでさらに悪化する見込み。一方、「資本投資気運(その他設備)」は+5.3ポイント(前回比1.1良化)と改善し、さらに消費増税が近づく3ヶ月後の見通しでは+15.8ポイントにまで回復すると見込まれている。

「不足感(雇用人員)」は▲32.9ポイント(前回比1.7良化)とやや回復したものの、引き続き厳しい状況であることに変わりはない。

【主要指標数値(全体)と業界天気】

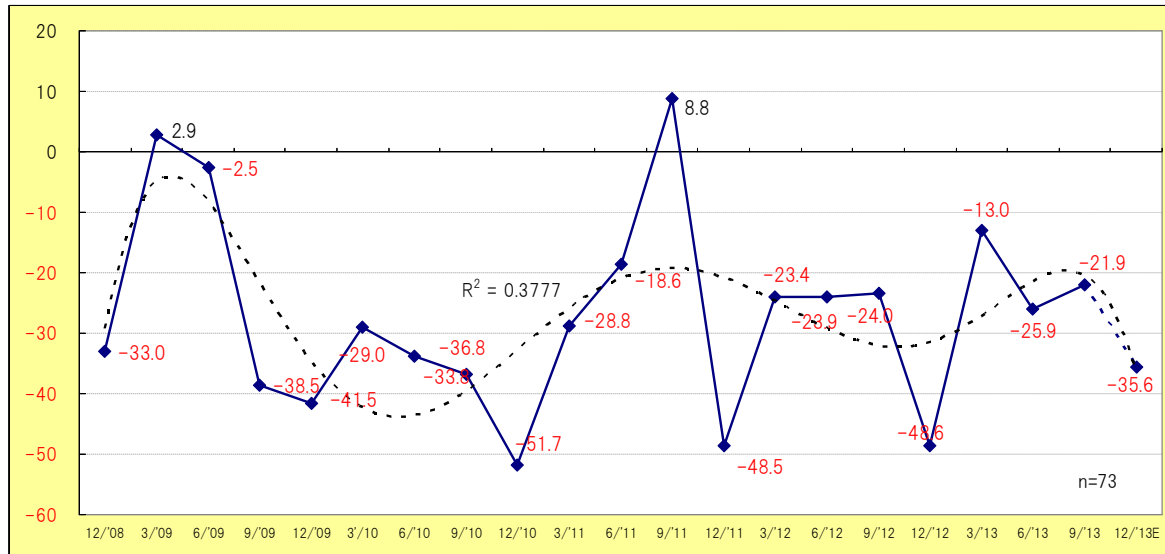
項目	業界天気 (下段: DI値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況	 -25.9	 -21.9	 -35.6	現状は引き続き雨 見通しは雷雨に悪化
2. 稼働状況 (パチンコ)	 -25.9	 -31.5	 -45.2	現状は雷雨に悪化 見通しは引き続き雷雨
3. 稼働状況 (パチスロ)	 -22.2	 -21.9	 -34.2	現状は引き続き雨 見通しは雷雨に悪化
4. 資本投資気運 (遊技機)	 -9.7	 -10.3	 -13.8	現状は曇りから雨に悪化 見通しは引き続き雨
5. 資本投資気運 (その他設備)	 4.2	 5.3	 15.8	現状は引き続き曇り 見通しは薄曇りに良化
6. 不足感 (営業用設備)	 -2.5	 1.4	 4.1	現状は引き続き曇り 見通しは変わらず曇り
7. 不足感 (雇用人員)	 -34.6	 -32.9	 -32.9	現状は引き続き雷雨 見通しは引き続き雷雨

凡例: 天気記号の基準DI値

記号					
DI値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

全般的業況(事業者全体) 注:2013年12月期(12/13E)の数値は見通し

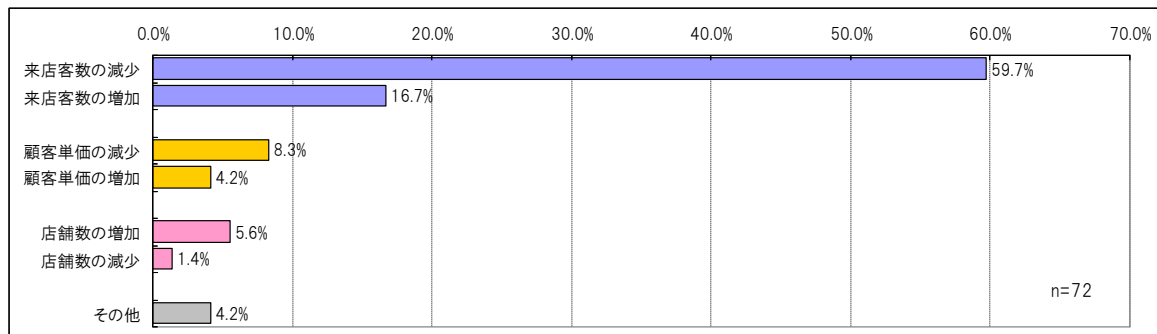
■全般的業況:やや改善するも、見通しは転じて悪化の見込み



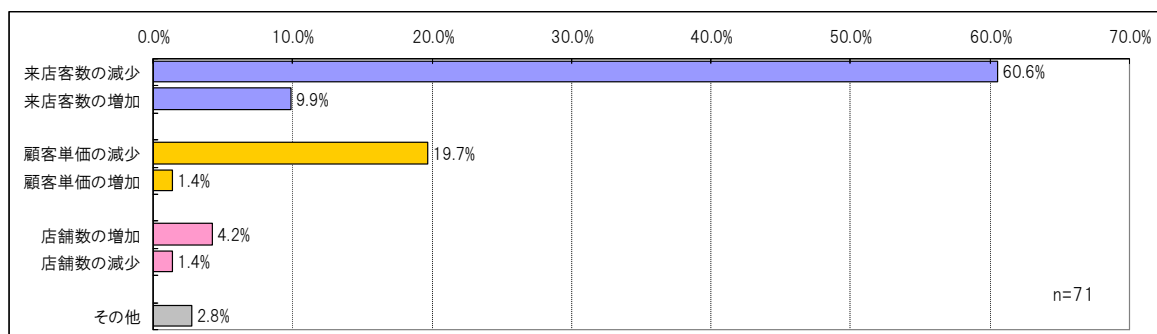
過去1ヶ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲21.9ポイント(前回比4.0良化)となった。前回(13年6月調査)からは若干の回復となったものの、8期連続のマイナス推移という結果になった。また、3ヶ月後の見通しでは▲35.6ポイントまで悪化すると考えられており、全般的な業況が回復する兆しは見えてこない。

■全般的業況の判断理由:客数の減少が最大の懸念材料

【現況(現在を含めたここ1ヶ月)についての判断理由】

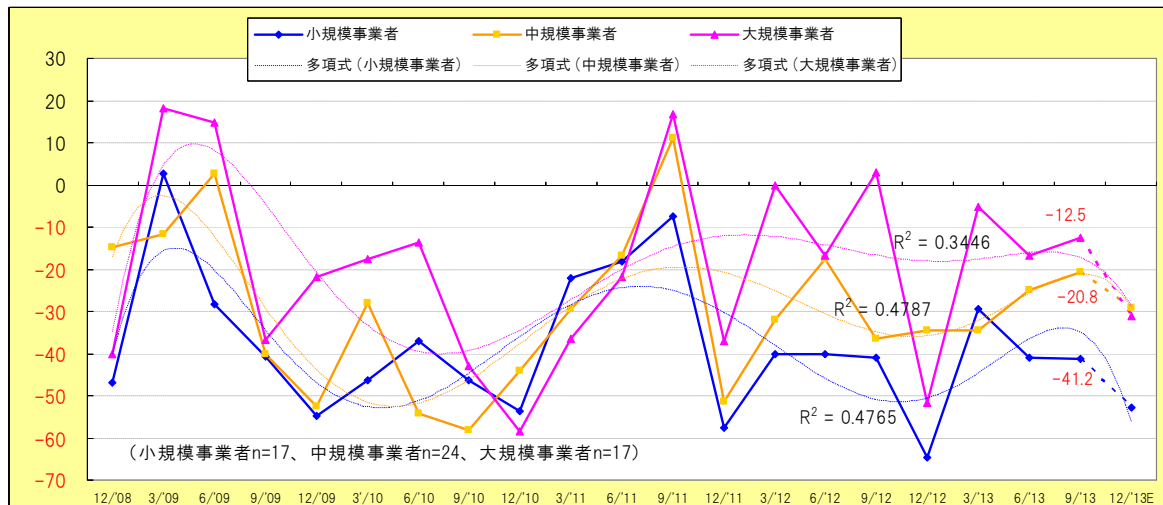


【先ゆき(3ヶ月後まで)についての判断理由】



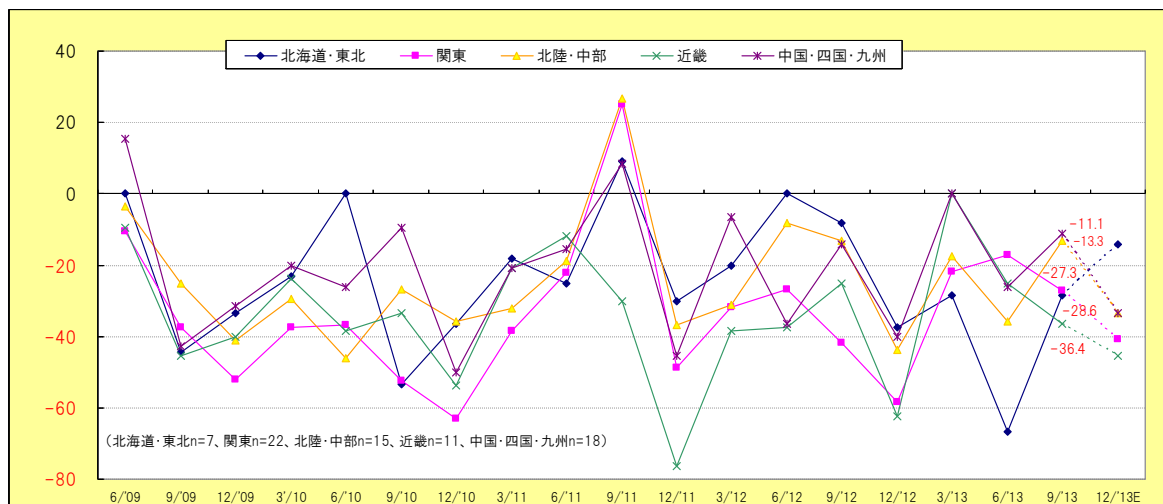
全般的業況(規模別・地域別) 注: 2013年12月期(12/13E)の数値は見通し

■ 全般的業況(規模別): 大規模が回復し、中規模も上向き続く



「全般的業況」を事業者規模別で見ると、小規模事業者(1~3 店舗)が▲41.2 ポイント(前回比 0.3 悪化)、中規模事業者(4~10 店舗)が▲20.8 ポイント(前回比 4.2 良化)、大規模事業者(11 店舗以上)は▲12.5 ポイント(前回比 4.2 良化)となった。大規模事業者と中規模事業者はやや回復したが、3ヶ月後の見通しについては、事業規模にかかわらず、数値の悪化が見込まれている。

■ 全般的業況(地域別): 回復著しい北海道・東北地域

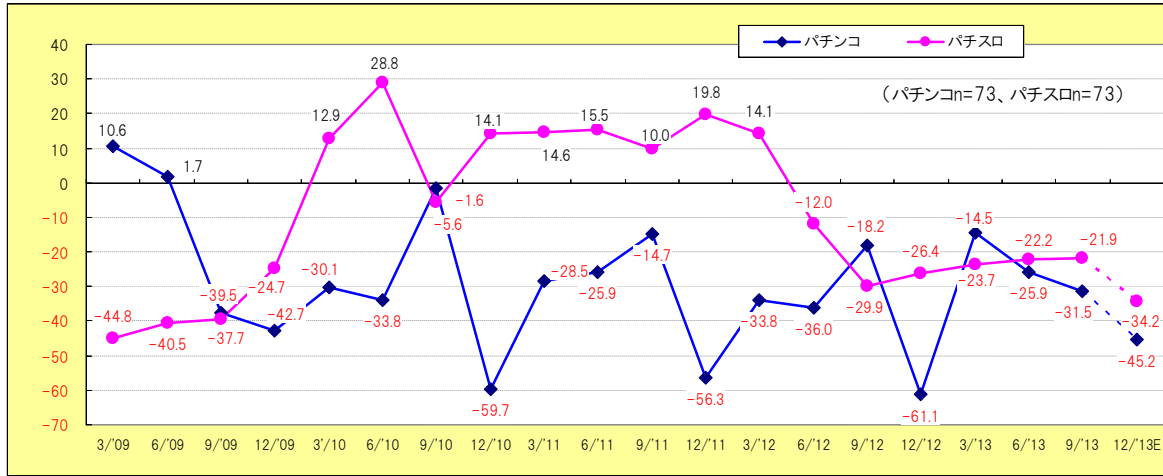


地域別で「全般的業況」を見てみると、関東・近畿以外の地域において大幅な回復を見せている。なかでも、前回調査において過去 5 年で最悪の数値(▲66.7 ポイント)を記録した北海道・東北地域が大幅な良化(▲28.6 ポイント)に転じている。

一方、3ヶ月後の見通しについては、北海道・東北地域を除くすべての地域で悪化すると予想されており、依然として景気局面が好転する兆しは見られない。

稼働状況(事業者全体) 注:2013年12月期(12/13E)の数値は見直し

■ 稼働状況(パチンコ・パチスロ別):稼働の悪化が続くパチンコ

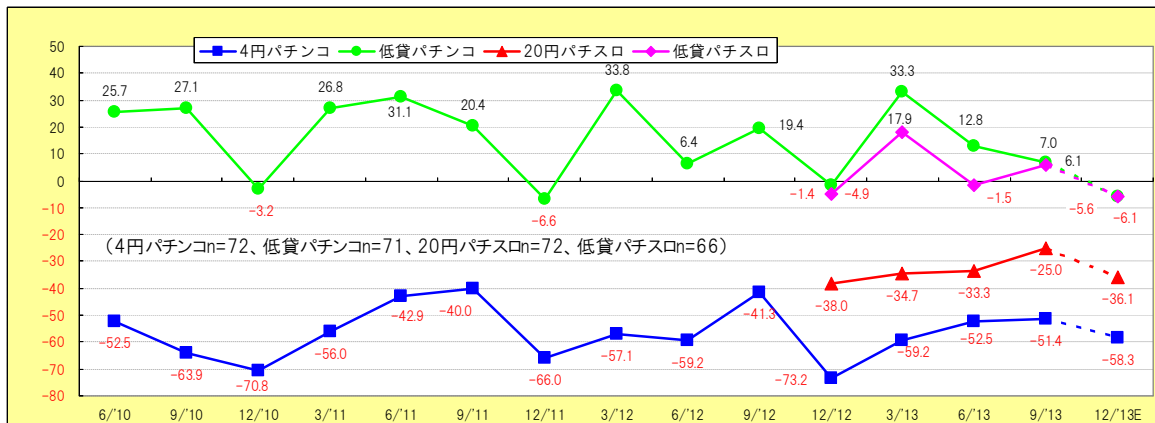


パチンコ稼働状況は前回から 5.6 下げて▲31.5 ポイントとなり、2 期連続して悪化した。また、3 ヶ月後の見通しも▲45.2 ポイントとなり、良化は望めそうもない。

一方、パチスロ稼働状況は▲21.9 ポイント(前回比 0.3 良化)と 4 期連続で回復傾向にある。ただし、3 ヶ月後(13 年 12 月期)の稼働状況については悪化(▲34.2 ポイント)が見込まれている。

パチンコ・パチスロが揃ってマイナス数値となってから 6 期目となるが、依然として景気後退局面から抜け出すことは厳しい状況にある。

■ 稼働状況(貸玉料金別): パチスロは 20 円、低貸ともに回復

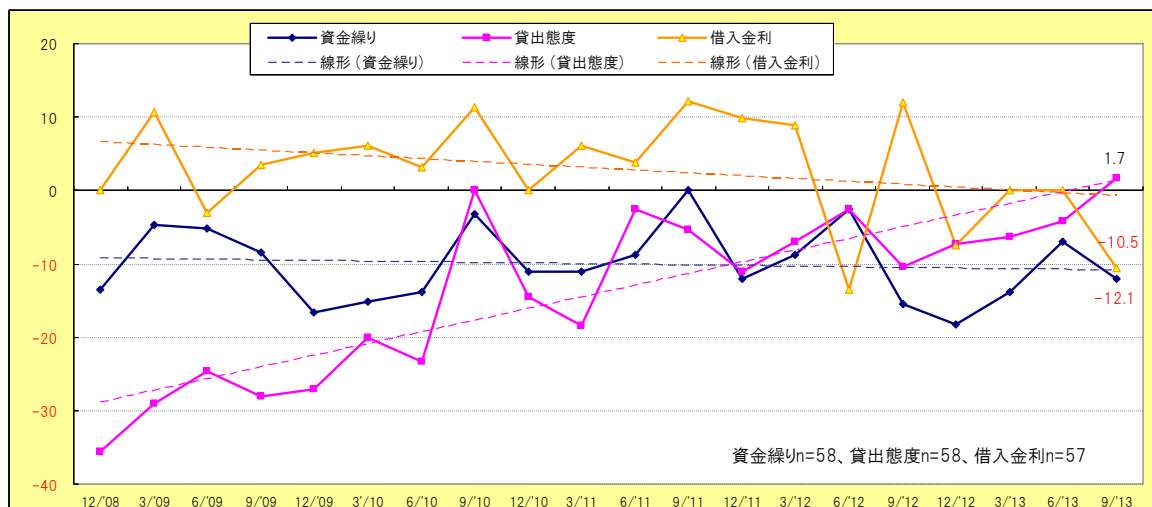


稼働状況を貸玉(メダル)料金別に見ていくと、4 円パチンコの稼働状況は▲51.4 ポイント(前回比 1.1 良化)となった。一方、20 円パチスロの稼働状況は▲25.0 ポイント(前回比 8.3 良化)となり、調査開始から 3 期連続で回復傾向にある。

低貸パチンコは+7.0 ポイント(前回比 5.8 悪化)となって依然プラス圏(景気拡大期)で推移しているものの、2 期連続の悪化となった。一方、低貸パチスロは+6.1 ポイント(前回比 7.6 良化)となり、マイナスからプラスに転じている。

また、3 ヶ月後の見直しについては、すべての貸玉(メダル)料金において悪化すると見込まれており、2012 年 12 月期以来の 4 種すべてマイナス圏(景気減速期)となる可能性が出てきた。

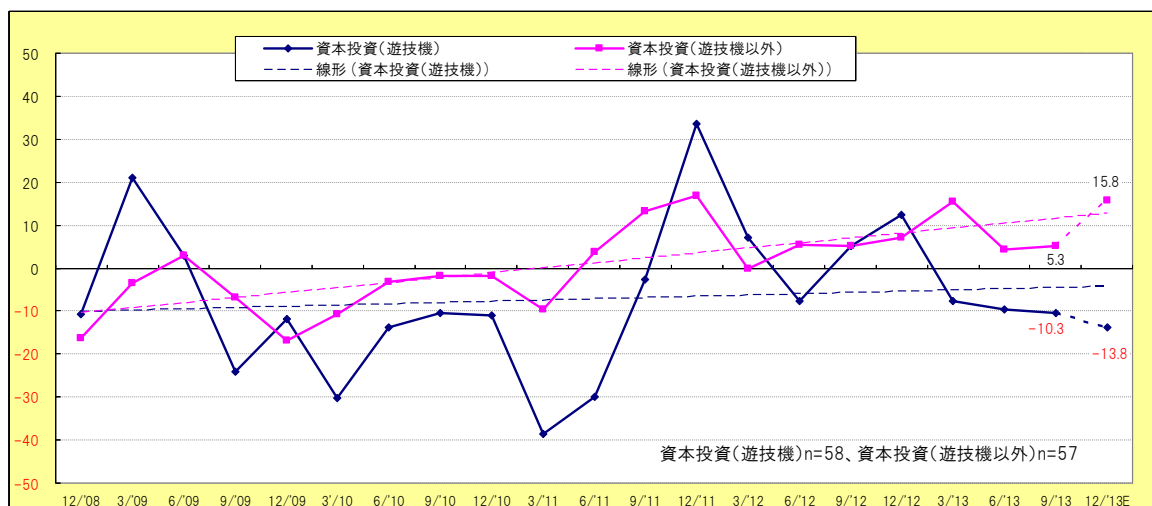
■ 企業金融: 貸出態度は良化するも、借入金利・資金繰りは悪化



企業金融(資金繰り、貸出態度、借入金利)の現状については、「貸出態度」が+1.7ポイントとなり、2007年3月以来6年半振りのプラス圏内入りとなった。

その一方で、2期連続で落ち着きを見せていた「借入金利」と、回復傾向にあった「資金繰り」は、それぞれ▲10.5ポイント、▲12.1ポイントにまで悪化している。

■ 資本投資気運: 設備投資(遊技機以外)は大幅回復の見込み



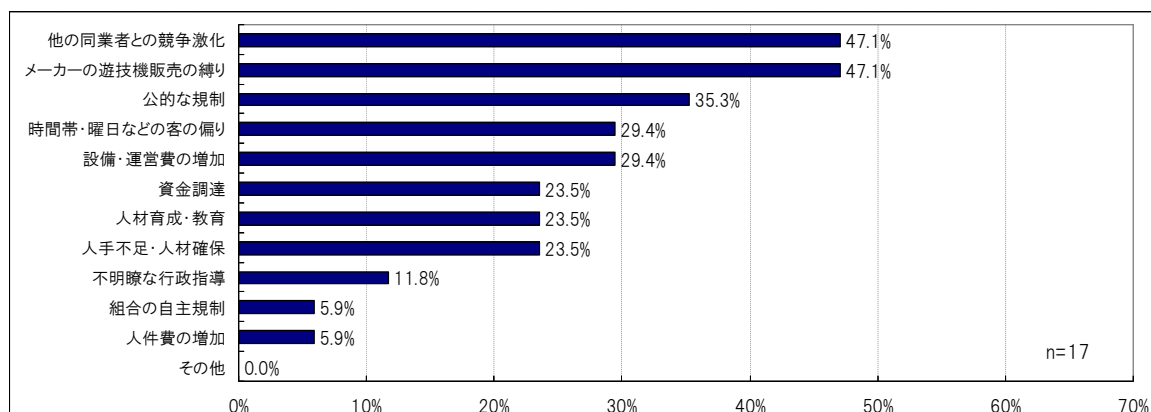
資本投資気運については、遊技機投資がマイナス数値、遊技機以外の設備投資がプラス数値という状態が3期続く結果となった。

「資本投資(遊技機)」は今回、やや悪化して▲10.3ポイントとなったが、3ヶ月後の見通しでは▲13.8ポイントまでさらに落ち込むと見込まれており、遊技機に対する投資への慎重さがうかがえる。

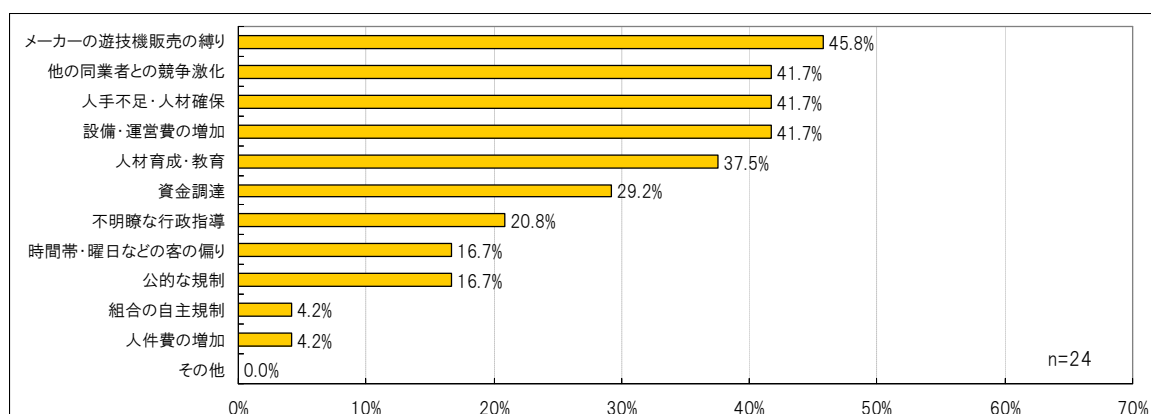
一方、「資本投資気運(遊技機以外の設備)」は今回、+5.3ポイント(前回比1.1良化)まで回復し、さらに消費税増税が近づく3ヶ月後の見通しでは+15.8ポイントにまで急上昇すると見込まれている。

経営上の課題(事業者規模別) 注:複数回答

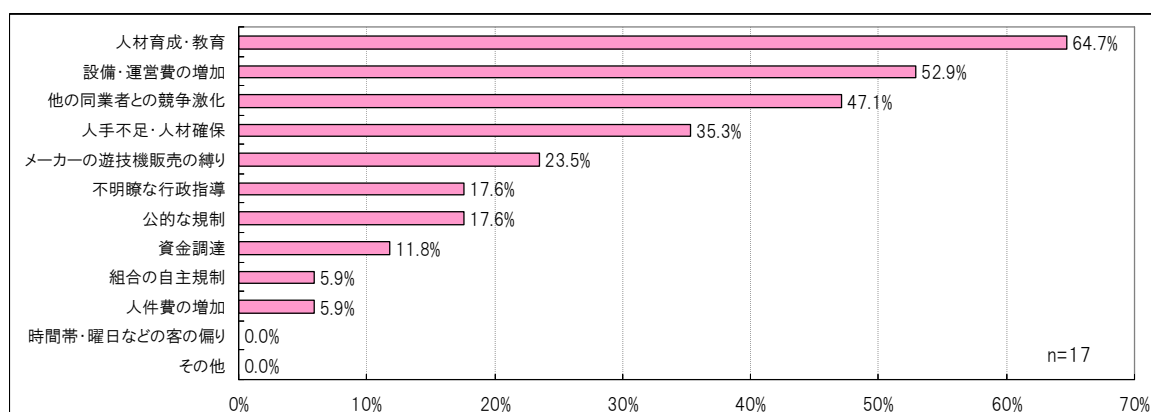
■ 小規模事業者:「競争激化」「遊技機販売縛り」がトップ2の課題



■ 中規模事業者:「遊技機販売縛り」が最重要課題



■ 大規模事業者:「人材育成・教育」「設備・運営費増加」が課題

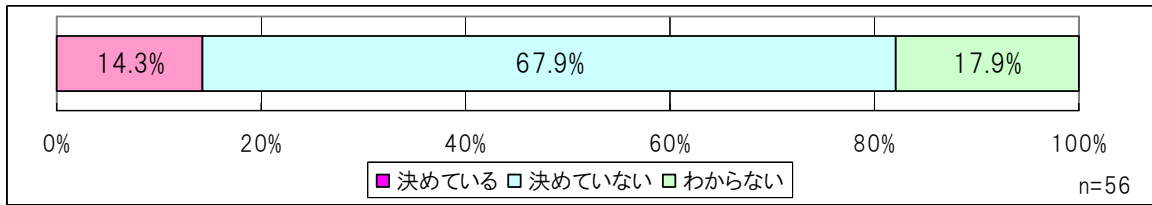


今回の調査でも、「経営上の課題」は、事業者規模の違いによって大きく異なる結果となった。

小規模事業者(1~3 店舗)は、「他の同業者との競争激化」と「メーカーの遊技機販売の縛り」が同率で47.1%と最も多かった。また、中規模事業者(4~10 店舗)では、「メーカーの遊技機販売の縛り」(45.8%)を一番の課題に挙げている。一方、11 店舗以上の大規模事業者では、「人材育成・教育」(64.7%)がトップとなり、「設備・運営費の増加」(52.9%)が続いている。

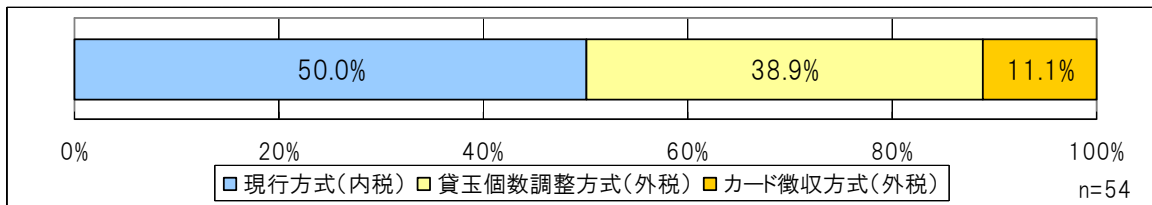
トレンド・ウォッチ「消費税増税について」

■ 徴収方式の決定について



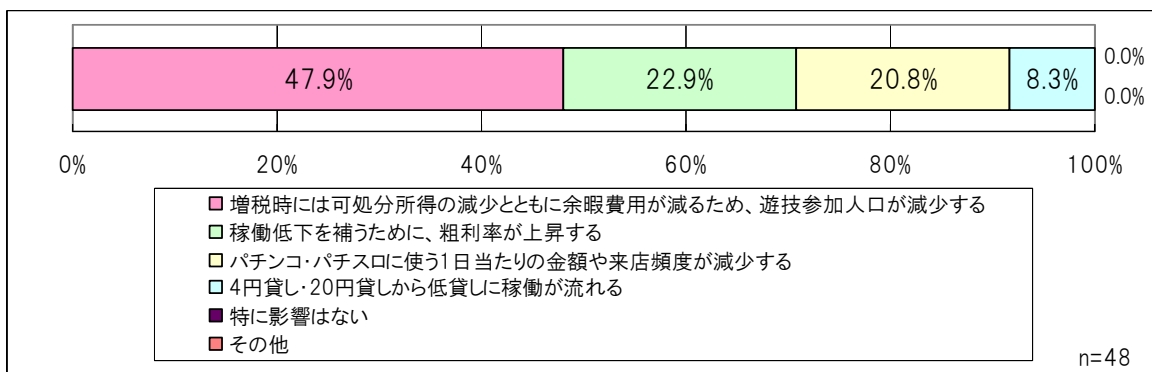
2014年4月に消費税が5%から8%に引き上げられることになった。それに伴い、パチンコ店においては、「現行方式(内税)」「貸玉個数徴収方式(外税)」「カード徴収方式(外税)」という3種類の徴収方式が考えられる。「税率が8%に引き上げられた際の徴収方式をすでに決めているか」との質問に対しては、「決めている」が14.3%、「決めていない」が67.9%、「わからない」が17.9%という結果になった。

■ 8%時に望ましいと思う徴収方式



「税率が8%に引き上げられた際に、望ましいと思う徴収方式はどれか」という質問への回答は、「現行方式(内税)」50.0%、「貸玉個数徴収方式(外税)」38.9%、「カード徴収方式(外税)」11.1%という結果になり、増税時には現行の内税方式が望ましいとの考えが半数を占めている。また、同じ外税方式でも、「貸玉個数調整方式」(38.9%)が「カード徴収方式」(11.1%)を上回る結果となった。

■ 消費税増税で最も危惧すること



消費税が増税された際の負の影響として「最も危惧すること何か」という質問に対しては、「増税時には可処分所得の減少とともに余暇費用が減るため、遊技参加人口が減少する」との回答が47.9%と最も多かった。続いて、「稼働低下を補うために、粗利率が上昇する」が22.9%、「パチンコ・パチスロに使う1日当たりの金額や来店頻度が減少する」が20.8%、「4円貸し・20円貸しから低貸しに稼働が流れる」が8.3%となった。

コメント(自由回答)抜粋

■ 消費税増税および現状・先行きに対するご意見

消費税増税に関するコメント

- ◆ 増税は企業にとって重い負担であり、経営が続けられるか不安でいっぱい。一方で、国家財政の破綻がチラつく今、やはり消費税増税は必要だと思う。マクロとミクロの狭間で脳内も引き裂かれている。(関東・中規模事業者)
- ◆ 消費税の徴収方式を業界全体で決めてほしい。(四国・大規模事業者)
- ◆ 現状の内税方式での一物一価、等価交換の認識が行政とホールおよび組合で差異を感じる。(関東・中規模事業者)
- ◆ 外税でも内税でも、今より客数が減るという予想は立てられる。業界が向かう方向は外税内税を決めることではない。4円パチンコの稼働を維持するために「等価=4円」を変えていくか(大阪方式)、パチンコとパチスロは異なる遊技性として「二物二価」を認めてもらうのか、などを全体で考えていくべき時にきていると考える。(関東・中規模事業者)
- ◆ 消費税増税に対して5団体が手をこまねている理由はわからなくもないが、思い切って「相談」してほしいし、もっと現場の声も聞いてほしい。増税による設備投資を見越した動きも必要になるので、速い決着を望む。(近畿・大規模事業者)

現状・先行きに関するコメント

- ◆ パチンコ、特に4円の落ち込みがひどい。パチスロもAKB、北斗以降の遊技機が良くないので低下気味である。コストを下げても遊技機購入費が下がらないと無理である。(東北・小規模事業者)

調査結果概要データ(DI 値)

■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-40.9	-41.2	-52.9	-25.0	-20.8	-29.2	-16.7	-12.5	-31.3	-25.9	-21.9	-35.6
稼働状況(パチンコ)	-40.9	-52.9	-64.7	-16.7	-33.3	-37.5	-25.0	-18.8	-40.6	-25.9	-31.5	-45.2
稼働状況(パチスロ)	-31.8	-29.4	-41.2	-12.5	-20.8	-29.2	-25.0	-18.8	-34.4	-22.2	-21.9	-34.2
資本投資気運(遊技機)	-4.5	-23.5	-29.4	-20.8	-4.2	-12.5	-4.2	-5.9	0.0	-9.7	-10.3	-13.8
資本投資気運(その他設備)	0.0	11.8	5.9	4.2	0.0	20.8	8.7	6.3	18.8	4.2	5.3	15.8
不足感(営業用設備)	0.0	5.9	5.9	4.2	-8.3	-4.2	-8.7	6.3	9.4	-2.5	1.4	4.1
不足感(雇用人員)	-18.2	-11.8	-17.6	-41.7	-50.0	-45.8	-45.8	-31.3	-31.3	-34.6	-32.9	-32.9

■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-66.7	-28.6	-14.3	-17.2	-27.3	-40.9	-35.7	-13.3	-33.3
稼働状況(パチンコ)	-22.2	-28.6	-28.6	-27.6	-36.4	-50.0	-35.7	-40.0	-40.0
稼働状況(パチスロ)	-55.6	-14.3	0.0	-34.5	-22.7	-45.5	0.0	-26.7	-40.0
不足感(営業用設備)	11.1	0.0	0.0	-6.9	-9.1	0.0	0.0	-13.3	-6.7
不足感(雇用人員)	-22.2	-28.6	-28.6	-34.5	-40.9	-40.9	-28.6	-40.0	-26.7
項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-25.0	-36.4	-45.5	-26.2	-11.1	-33.3	-25.9	-21.9	-35.6
稼働状況(パチンコ)	-25.0	-36.4	-45.5	-23.8	-16.7	-50.0	-25.9	-31.5	-45.2
稼働状況(パチスロ)	-8.3	-45.5	-36.4	-21.4	-5.6	-27.8	-22.2	-21.9	-34.2
不足感(営業用設備)	0.0	18.2	9.1	-2.4	16.7	16.7	-2.5	1.4	4.1
不足感(雇用人員)	-33.3	-18.2	-36.4	-38.1	-27.8	-27.8	-34.6	-32.9	-32.9

■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	-37.5	-31.8	-41.2	-17.2	-8.3	-8.3	10.5	16.7	11.8	-13.8	-6.9	-12.1
貸出態度	-18.8	-18.2	-17.6	-7.1	-4.3	0.0	10.5	4.2	23.5	-6.3	-4.2	1.7
借入金利	-7.1	-4.8	-12.5	3.6	8.7	-12.5	0.0	-4.3	-5.9	0.0	0.0	-10.5

* 全般的業況n=73、稼働状況(パチンコ)n=73、働状況(パチスロ)n=73、資本投資気運(遊技機)n=58、資本投資気運(その他設備)n=57、不足感(営業用設備)n=73、不足感(雇用人員)n=73、資金繰り(n=58)貸出態度(n=58)借入金利(n=57)

* 小規模事業者=3 店舗以下、中規模事業者=4~10 店舗、大規模事業者=11 店舗以上

第 54 回調査質問票(1)

F1. 貴社が保有されている全営業店舗数を回答してください。(__店舗)

F2. 貴社が営業されている店舗は以下のどの地域に属しますか？ 該当する地域すべてについて、問 1 から問 5 までそれぞれ回答してください。

A. 北海道 B. 東北(青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県) C. 関東(茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県) D. 北陸(新潟県 富山県 石川県 福井県) E. 中部(山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県) F. 近畿(滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県) G. 中国(鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県) H. 4 国(徳島県 香川県 愛媛県 高知県) I. 九州(福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県)

I. 以下の設問には、保有される店舗が属する F2. で示した地域ごとに回答してください。

問 1. 【業況】貴社における、収益を中心に売上や粗利といった全般的な業況について。

①「現況(現在を含めたここ 1 ヶ月)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

②「先行き(3 ヶ月後まで)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

付問 1-1. 問 1 で業況判断をした理由について、下記項目から何が最も影響しているのか、『現況』と『先行き』それぞれあてはまる項目を記号で回答してください。(回答用紙に記号を1つだけ記入してください)

①現況(現在を含めたここ 1 ヶ月)の業況判断の理由

②先行き(3 ヶ月後まで)の業況判断の理由

a. 店舗数の増加(増台含む) b. 来店客数の増加 c. 顧客単価の増加 d. 店舗数の減少(減台含む) e. 来店客数の減少 f. 顧客単価の減少 g. その他

問 2. 【営業用設備】貴社の日常的営業活動において、遊技機を中心とした営業用設備(券売機、計数機などを含む。但し定期的な点検・修繕などによる一時的不足は除く)について。

①「現況(現在を含めたここ 1 ヶ月)」では[a. 過剰 b. 適正 c. 不足]

②「先行き(3 ヶ月後まで)」では[a. 過剰 b. 適正 c. 不足]

問 3. 【雇用】貴社の雇用人員について。

①「現況(現在を含めたここ 1 ヶ月)」では[a. 過剰 b. 適正 c. 不足]

②「先行き(3 ヶ月後まで)」では[a. 過剰 b. 適正 c. 不足]

問 4. 【稼働状況/パチンコ】貴社における、パチンコ遊技機の全般的な稼働状況について。

※ここでは、4 円パチンコや低貸玉パチンコを含めたパチンコ全般を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ 1 ヶ月)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

②「先行き(3 ヶ月後まで)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

付問 4-1. 【4 円パチンコ】※ここでは、4 円パチンコの状況を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ 1 ヶ月)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

②「先行き(3 ヶ月後まで)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

付問 4-2. 【低貸玉パチンコ】 ※ここでは、低貸玉パチンコの状況を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ 1 ヶ月)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

②「先行き(3 ヶ月後まで)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

第 54 回調査質問票(2)

問 5. 【稼働状況/パチスロ】貴社における、パチスロ遊技機の全般的な稼働状況について。

※ここでは、20 円パチスロや低貸メダルを含めたパチスロ全般を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ 1 ヶ月)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

②「先行き(3 ヶ月後まで)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

付問 5-1. 【20 円パチスロ】※ここでは、20 円パチスロの状況を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ 1 ヶ月)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

②「先行き(3 ヶ月後まで)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

付問 5-2. 【低貸メダルパチスロ】※ここでは、低貸メダルの状況を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ 1 ヶ月)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

②「先行き(3 ヶ月後まで)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

II. 以下の設問は、保有店舗全体について企業単位で回答してください。

問 6. 【資金繰り】貴社における資金繰りについて。

①「現況(現在を含めたここ 1 ヶ月)」では〔 a. 楽である b. さほど苦しくない c. 苦しい 〕

問 7. 【貸出態度】貴社に対する金融機関の貸出態度について。

①「現況(現在を含めたここ 1 ヶ月)」では〔 a. 緩い b. さほど厳しくない c. 厳しい 〕

問 8. 【借入金利】貴社における金融機関の借入金利変化について。

①「(3 ヶ月前に比べて)現在の変化」では〔 a. 上昇 b. 変わらない c. 低下 〕

問 9. 【資本投資/遊技機】貴社において、遊技機に対する資本投資の変化について。

①「(3 ヶ月前に比べて)現在の変化」では〔 a. 増加 b. 変わらない c. 減少 〕

②「先行き(3 ヶ月後まで)の変化」では〔 a. 増加 b. 変わらない c. 減少 〕

問 10. 【資本投資/設備】貴社において、遊技機以外の設備に対する資本投資の変化について。

①「(3 ヶ月前に比べて)現在の変化」では〔 a. 増加 b. 変わらない c. 減少 〕

②「先行き(3 ヶ月後まで)の変化」では〔 a. 増加 b. 変わらない c. 減少 〕

問 11. 【経営上の課題】貴社における経営上の課題として、重要なもの上位3つを選んで回答欄に記号でお答えください。

- a. 人件費の増加 b. 設備・運営費の増加 c. 人手不足・人材確保 d. 人材育成・教育 e. 資金調達 f. メーカーの遊技機販売の縛り g. 公的な規制 h. 不明瞭な行政指導 i. 組合の自主規制 j. 他の同業者との競争激化 k. 時間帯・曜日などの客の偏り l. その他()

第 54 回調査質問票(3)

Ⅲ. トレンド・ウォッチ ～「消費税増税について」

●2014 年 4 月に税率 8%への引き上げが確実視されている消費税についてお答えください。

問 12: 税率が 8%に引き上げられた際の徴収方式を自店舗ではすでに決めていますか。

- a. 決めている b. 決めていない c. わからない

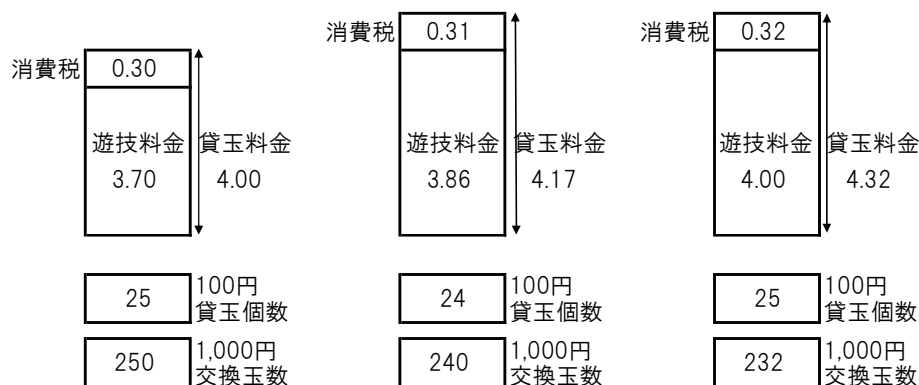
問 13: 税率が 8%に引き上げられた際、どの徴収方式(別表を参照)が自店舗にとって望ましいとお考えですか。

- a. 現行方式(内税) b. 貸玉個数調整方式(外税) c. カード徴収方式(外税)

問 14: 「業界全体に与える負の影響」として、最も危惧することはどれですか。

- a. 増税時には可処分所得の減少とともに余暇費用が減るため、遊技参加人口が減少する。
 b. パチンコ・パチスロに使う 1 日当たりの金額や来店頻度が減少する。
 c. 4 円貸し・20 円貸しから低貸しに稼働が流れる。 d. 稼働低下を補うために、粗利率が上昇する。
 e. 特に影響はない。 f. その他()

参考: 消費税8%時における徴収方式の比較(4円パチンコの例)



徴収方式	①現行方式(内税)			②貸玉個数調整方式(外税)			③カード徴収方式(外税)		
	5%	8%	10%	5%	8%	10%	5%	8%	10%
店側の メリット・デメリット	○設備投資が不要 ×遊技料金の値下げが必要 ×現状の交換率のままだと、増税分の粗利調整が必要になる			○遊技料金の値下げがほぼ不要 ×貸玉個数を調整する機能がない設備だと、再投資が必要になる ×パチンコ・パチスロへの予算額が同じ場合、稼働が下がる。			○遊技料金を上限額で貸し出しすることが可能 ×カード精算時に端数が出る ×システムの入替えや改造が必要な場合がある ×パチンコ・パチスロへの予算額が同じ場合、稼働が下がる。		
遊技客側の メリット・デメリット	○貸玉料金が税込みで変わらないため、納税感覚はなし ×増税前と同じだけの利益を確保した場合、粗利率が上昇する			○100円あたりの貸出個数が少なくなる対応のため、体感しにくい ○景品交換玉数が現行の内税方式よりも少なくなるため、お得に感じる可能性がある ×実質的には値上げになる			○景品交換玉数が現行の内税方式よりも少なくなるため、交換時の満足感を損なわない ×カード精算時に端数が出る ×実質的には値上げとなる		
税率	5%	8%	10%	5%	8%	10%	5%	8%	10%
貸玉料金(税込)	4.00	4.00	4.00	4.17	4.17	4.35	4.20	4.32	4.40
100円貸玉個数	25	25	25	24	24	23	25	25	25
1,000円交換玉数	250	250	250	240	240	230	239	232	228
遊技料金(税抜)	3.81	3.70	3.64	3.97	3.86	3.95	4.00	4.00	4.00
消費税額	0.19	0.30	0.36	0.20	0.31	0.40	0.20	0.32	0.40



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-7-5 石川興産ビル4F
Tel:03-5289-4751 Fax:03-5289-4752 Web:www.eb-i.jp

本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、データ化することを禁じます。

Copyright© 2013 Entertainment Business Institute. All rights reserved.